

\*\*\*\*\*

## 長寿社会のまちづくり

### ・ 柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会

<http://kashiwa-toyoshikidai.org/>

柏市・東京大学高齢社会総合研究機構・都市再生機構（UR都市機構）

### ・ 豊四季台地域高齢社会総合研究会

「柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会」は、柏市において、今後日本の各都市で進行する急激な都市高齢化に対応した、誰もが安心して元気にくらすことができるまちづくりのあり方を検討し、その具現化を推進する研究会です。構成員は柏市、東京大学高齢社会総合研究機構（以下、東大IOG）、及び独立行政法人都市再生機構（以下、UR都市機構）の3者です。

2009年6月に立ち上げ、定期的な研究会の開催、及び市民向けシンポジウム等を開催してきました。1年後の2010年5月には具体的な施策を進めるため、柏市、東大IOG、UR都市機構は三者協定を結びました。

柏市の中でも突出して高齢化が進むUR都市機構豊四季台団地及びその周辺地域（豊四季台地域）を中心に活動しています。

現在は、研究会のもとに「在宅医療委員会」「人と人委員会」「住まい・移動委員会」の3委員会および各ワーキンググループを設け、超高齢社会・長寿社会に対応したまちづくりの具体化をすすめています。

### ・「長寿社会のまちづくり」構想

柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会では、2009年からの研究会での議論を「長寿社会のまちづくり構想」にまとめました。

#### 構想要約

##### 背景と課題

- ・ これからの日本は、都市部において急激に高齢化が進みます。柏市も例外ではありません。
- ・ 団塊世代が65歳以上に達するため、今後5年ほどは現役から退きセカンドライフの活躍の場を地域に求める人々の増加が見込まれます。
- ・ また2020年を超えると、特に75歳以上高齢者の割合が高まることが予測されます。
- ・ 現状のままでは、高齢人口の増加は要支援・要介護者の増加に結びつくことが懸念されます。
- ・ 支援や介護を必要とする高齢者を減らすための取り組みをすすめるとともに、支援や介護、医療が必要でも住み慣れた環境で自分らしい生活を営めるシステムづくり、まちづく

りが必要です。

### 研究会が目指すまちの姿

・ 超高齢・長寿社会に対応したまちづくりの観点から、以下の方針を実現します。

- (1) いつまでも在宅で安心した生活が送れるまち
- (2) いつまでも元気で活躍できるまち

そして、(1) (2) を実現するために以下2点に取り組みます。

- ・ 地域包括ケアシステムの具現化
- ・ 高齢者の生きがい就労の創成

### 資料のダウンロード

・「長寿社会のまちづくり」(平成 23 年 6 月 28 日版) [概要版](#) [全体版](#)

[http://kashiwa-toyoshikidai.org/uploading/110628\\_kashiwa-toyoshiki.pdf](http://kashiwa-toyoshikidai.org/uploading/110628_kashiwa-toyoshiki.pdf)

目次

1. プロジェクトの意義
2. 背景と課題
3. 柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会について
4. 研究会がめざすまちの姿
5. 地域包括ケアシステムの具現化について
6. 高齢者の生きがい就労について
7. 生まれ変わる柏市・豊四季台地域の暮らし
8. 豊四季台地域における事業のスケジュール

### ・活動内容

#### 柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会

研究会の活動全般の方向性を決め、意思決定をする場です。

これまで約 1～2 か月に 1 回のペースで研究会を開催し、全体の活動に関わる議論、意思決定、各委員会の活動の進捗確認を行っています。また、研究会主催のシンポジウムや本ウェブサイト運営を通して研究会の活動を紹介しています。

委員は柏市、東京大学高齢社会総合研究機構、UR 都市機構の、本プロジェクトに関わるメンバから構成されています。

#### 在宅医療委員会

豊四季台地域、あるいは柏市全域における「地域包括ケアシステム」の具現化を目指し、在宅医療・ケアの推進に関する議論を行っています。現在は、医療ワーキング・グループ、連携ワーキング・グループを中心に、在宅医療に係る負担軽減システム、地域医療拠点の整備等の具体的検討を進めています。

#### 医療ワーキング・グループ

総合研究会のメンバーである柏市、東京大学高齢社会総合研究機構、UR都市機構のほか、柏医師会、千葉大学をメンバーに加え、豊四季台地域、あるいは柏市全域における在宅医療の推進について、概ね1?2ヶ月に1回の頻度で議論を行っています。

### **連携ワーキング・グループ**

医療ワーキング・グループのメンバーに加え、柏歯科医師会、柏市薬剤師会、訪問看護ステーション、柏市介護サービス事業者協議会、柏市介護支援専門員協議会、地元自治会をメンバーに加え、在宅医療を含む在宅ケアの推進やそれを支える多職種連携のあり方について概ね1?2ヶ月に1回の頻度で議論を行っています。このワーキング・グループ自体が、職種・立場を超えた連携や交流の場としても活用されています。

### **人と人のつながり委員会**

「いつまでも元気で活躍できるまち」の実現を目指し、住民同士が繋がり、支えあうことを支援する社会の在り方を検討します。

現在は「就労ワーキング・グループ」として活動し、身近な地域で無理なく働き、かつ地域の課題解決に貢献できる「生きがい就労」の場をまちに創造することを目指しています。就業の場は「農業」「生活支援」「子育て支援」「食」の4領域、8事業です。

### **就労ワーキング・グループ**

「農業」「生活支援」「子育て支援」「食」の4つのワーキング・グループから構成されます。これら4分野は、高齢者の力や知恵を活かして、現在柏市が抱えている課題を解決できるのではないかと考えた領域です。ワーキング・グループでは、総合研究会のメンバーである柏市、東京大学高齢社会総合研究機構、UR都市機構に加え、それぞれの分野の専門家や関連組織が参加して、高齢者の能力と地域の課題をうまくマッチングする仕組みを考え、地元の企業や組織と一緒に高年齢者が生きがいとして働ける場をつくっています。

### **住まいと移動委員会**

在宅医療委員会や人と人のつながり委員会における各WGで議論されている事業やプロジェクトを実施するための空間に関する事項を検討の対象としている場です。

各WGにおける議論を詰めて、空間に関する諸条件を抽出する必要があり、立ち上がりは遅かったのですが、2010年10月からWGを、そして豊四季台地域で活動される地元の方と協働しながら、住民向けのイベントを開催しています。

- ・ イベント・募集
- ・ パブリシティ
- ・ 問い合わせ